

1983 年大会記録

国際

◇スーパーチャンピオンカップ=フリースタイル(3月4～5日、東京・代々木競技場

第2体育館)

▼48kg級 小林孝至(日大) = 3位、山下浩(茨城・霞ヶ浦高) = 4位、入江隆(自衛隊) = 5位、石川真一(栃木・足利工大付高)、▼52kg級 佐藤満(日体大) = 2位、朝倉利夫(鹿児島県体協) = 5位、▼57kg級 富山英明(日大教) = 優勝、上野宏之(群馬・館林高教) = 4位、元沢(自衛隊) = 5位、▼62kg級 金子博(群馬・西邑楽高教) = 2位、栄和人(日体大) = 3位、赤石光生(青森・光星学院高) = 5位

◇ワールドカップ=フリースタイル(3月26～27日、米国・トレド)

4位(1勝3敗)

1回戦 日本● [2-8] ○ソ連

2回戦 日本● [2-8] ○米国

3回戦 日本○ [8-2] ●アフリカ連合

4回戦 日本● [3-7] ○カナダ

《個人順位》▼48kg級 小林孝至(日大) = 2位、▼52kg級 朝倉利夫(鹿児島県体協) = 優勝、▼57kg級 上野宏之(群馬・館林) = 5位、▼62kg級 栄和人(奈良県体協) = 3位、▼68kg級 杉野浩吉(自衛隊) = 4位、▼74kg級 樋口直己(奈良県体協) = 4位、▼82kg級 水橋徹(国士舘大) = 4位、▼90kg級 太田章(早大助) = 3位、▼100kg級 本田多聞(日大) = 4位、▼100kg以上級 石森宏一(日体大) = 5位

◇コンコード国際大会=グレコローマン(5月27～28日、米国・コンコード)

▼48kg級、▼52kg級、▼57kg級 江藤正基(自衛隊) = 優勝、▼62kg級、▼68kg級 中島光正(とりせん) = 2位、▼74kg級 谷一郎(群馬・太田工高教) = 3位、▼82kg級、▼90kg級 今村民夫(自衛隊) = 6位、▼100kg級、▼100kg以上級

◇世界エスポアール選手権=グレコローマン(6月30日～7月2日、ノルウェー・ク

リスチャンサント)

▼48kg級 藤川健治(自衛隊) = 二失、▼52kg級 上島一敏(国士舘大) = 二失、▼57kg級 飯森勇次(東洋大) = 三失、▼62kg級 出口泰三(国士舘大) = 二失、▼68kg級 奥村拓生(国士舘大) = 三失、▼74kg級 小林由明(日体大) = 三失、▼82kg級 山口真

一（東洋大）＝二失、▼90kg級 呑香竜二（日大）＝二失、▼100kg級 東政弘（日体大）＝二失、▼100kg以上級 猿田充（国士館大）＝三失

◇スパルタキアード（7月11～28日、ソ連・モスクワ）

《フリースタイル》▼48kg級 小林孝至（日大）＝5位、▼52kg級 朝倉利夫（国士館大教）＝4位、▼62kg級 赤石光生（日大）＝二失

《グレコローマン》▼52kg級 宮原厚次（自衛隊）＝5位、▼68kg級 山口勝之（和歌山県庁）＝二失

◇世界少年選手権（8月2～6日、米国・ミズラー）

《フリースタイル》

◇世界エスポアール選手権＝フリースタイル（8月9～11日、米国・アナハイム）

▼48kg級 是永順次（福岡大）＝8位、▼52kg級 上島一敏（国士館大）＝7位、▼57kg級 森岡敬志（日体大）＝4位、▼62kg級 飛田（自衛隊）＝9位、▼68kg級 森巧（国士館大）＝7位、▼74kg級 涌井（専大）＝6位、▼82kg級 赤石明雄（国士館大）＝6位、▼90kg級 林（法大）＝6位、▼100kg級 早坂（大東大）＝6位、▼100kg以上級 猿田充（国士館大）＝7位

◇世界ジュニア選手権（8月11～13日、米国・オークロン）

《フリースタイル》▼48kg級 酒井浩二（群馬・館林高）＝5位、▼52kg級 崎口修司（和歌山・和歌山北高）、▼56kg級 Tagagiwa, Toshihiko、▼60kg級 川村憲保（茨城・土浦日大高）＝3位、▼65kg級 古矢浩祥（千葉・八千代松陰高）、▼70kg級 尾形勝志（青森・光星学院高）、▼75kg級 奈良岡豊（青森・光星学院高）＝3位、▼81kg級 斉藤竜雄（千葉・佐倉高）＝4位、▼87kg級 高橋重則（青森・八戸工高）6位、▼87kg以上級 石橋浩一（東京・東京実高）＝5位

《グレコローマン》▼48kg級 酒井浩二（群馬・館林）＝5位、▼52kg級 Katama, Yukihiro、▼56kg級 荒川忠雄（群馬・館林高）＝二失、▼60kg級 西口茂樹（和歌山・和歌山北高）＝6位、▼65kg級 有延伸一（福岡・築上西高）＝二失、▼70kg級 Oshita, Mitsuhiro、▼75kg級 Watanabe, Eiji、▼81kg級 新村英之（神奈川・横浜）＝4位、

▼87kg 級 、▼87kg 級以上級 杉浦洋一（群馬・高崎工高）＝2 位

◇世界選手権（9 月 22～29 日、ソ連・キエフ）

《フリースタイル》▼48kg 級 入江隆（自衛隊）＝二失、▼52kg 級 朝倉利夫（国士大教）＝2 位、▼57kg 級 富山英明（日大教）＝2 位、▼62kg 級 栄和人（奈良県協会）＝4 位、▼68kg 級 杉野浩吉（自衛隊）＝4 位、▼74kg 級 菊地隆（和歌山県教委）＝三失、▼82kg 級 長島偉之（栃木・足利工高教）＝二失、▼90kg 級 太田章（早大教）＝三失、▼100kg 級 本田多聞（日大）＝四失、▼100kg 級以上 石森宏一（大体大）＝二失

《グレコローマン》▼48kg 級 佐々木文和（島根・松江四中教）＝4 位、▼52kg 級 宮原厚次（自衛隊）＝6 位、▼57kg 級 江藤正基（自衛隊）＝優勝、▼62kg 級 大久保康裕（自衛隊）＝三失、▼68kg 級 山口勝之（和歌山県教育庁）＝四失、▼74kg 級 向井孝博（自衛隊）＝6 位、▼82kg 級 森山泰年（自衛隊）＝二失、▼90kg 級 今村民夫（自衛隊）＝二失、▼100kg 級 藤田芳弘（和歌山・和歌山北高教）＝二失、▼100kg 級以上 武田高広（専大）＝三失

◇アジア選手権（11 月 8～11 日、イラン・テヘラン）

《フリースタイル》▼48kg 級 小林孝至（日大）＝2 位、▼52kg 級 佐藤満（日体大）＝4 位、▼57kg 級 朝倉利夫（国士館大教）＝2 位、▼62kg 級 栄和人（奈良県協会）＝優勝、▼68kg 級 杉野浩吉（自衛隊）＝2 位、▼74kg 級 樋口直己（奈良県体協）＝2 位、▼82kg 級＝派遣なし、▼90kg 級＝派遣なし、▼100kg 級 本田多聞（日大）＝優勝、▼100kg 級以上 大川浩一（警視庁）＝3 位

《グレコローマン》▼48kg 級＝派遣なし、▼52kg 級＝派遣なし、▼57kg 級 朝倉利夫（国士館大教）＝優勝、▼62kg 級 栄和人（奈良県協会）＝2 位、▼68kg 級 杉野浩吉（自衛隊）＝2 位、▼74kg 級 樋口直己（奈良県体協）＝3 位、▼82kg 級＝派遣なし、▼90kg 級＝派遣なし、▼100kg 級＝派遣なし、▼100kg 級以上

◇ワールドカップ＝グレコローマン（11 月 25～29 日、ギリシャ・テッサロニキ）

4 位（3 敗 1 分け）

1 回戦 日本● [3 - 7] ○ギリシャ

2 回戦 日本△ [5 - 5] △モロッコ・エジプト連合

3 回戦 日本● [0 - 10] ○ソ連

4 回戦 日本● [3 - 7] ○キューバ

《個人成績》▼48kg 級 齊藤育造（和歌山県教委）＝3位、佐々木文和（島根・松江四中教）、▼52kg 級 宮原厚次（自衛隊）＝3位、▼57kg 級 三宅正徳（日体大）＝4位、▼62kg 級 大久保康裕（自衛隊）＝4位、芦野茂美（日体大）＝順位なし、▼68kg 級 山口勝之（和歌山県立体育館）＝4位、▼74kg 級 向井孝博（自衛隊）＝2位

◇ハパラダ国際大会＝グレコローマン(12月11～12日、スウェーデン・ハパラダ)

▼48kg 級 佐々木文和（島根・松江四中教）＝優勝、齊藤育造（和歌山県教委）＝4位、▼52kg 級 宮原厚次（自衛隊）＝優勝、▼57kg 級 江藤正基（自衛隊）、三宅正徳（日体大）＝3位、▼62kg 級 大久保康裕（自衛隊）＝四失、芦野茂美（日体大）＝三失、▼68kg 級 山口勝之（和歌山県立体育館）＝6位、森巧（国士舘大）＝二失、▼74kg 級 向井孝博（自衛隊）＝4位

国内

◇全国高校選抜大会（4月2～3日、新潟・新潟市体育館）

《学校対抗戦》[1] 青森・光星学院高（3年連続4度目）、[2] 茨城・霞ヶ浦、[3] 鹿児島・鹿児島商工、群馬・館林

《個人戦優勝者》▼48kg 級 山下浩（茨城・霞ヶ浦）、▼52kg 級 岩本博之（福岡・築上西）、▼56kg 級 牛込誠一（茨城・霞ヶ浦）、▼60kg 級 川村憲保（茨城・土浦日大）、▼65kg 級 有延伸一（茨城・築上西）、▼70kg 級 角崎朋博（秋田・秋田経法大付）、▼75kg 級 石井英明（群馬・太田商）、▼75kg 以上級 斎藤竜雄（千葉・佐倉）

◇西日本学生春季新人戦（4月29日、大阪・桃山学院大）

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 是永順次（福岡大）、▼52kg 級 平山勝也（大體大）、▼57kg 級 福地賢（徳山大）、▼62kg 級 表正光（徳山大）、▼68kg 級 山本修（徳山大）、▼74kg 級 恒川寿正（同志社大）、▼82kg 級 杉田直樹（徳山大）、▼90kg 級 奥村広人（同志社大）

※フリースタイルのみ実施

◇全日本社会人選手権（5月3～5日、埼玉・朝霞総合体育館）

《団体戦優勝チーム》▼官公庁 自衛隊、▼実業団 ユナイテッドスティール、▼クラブ 群馬県協会、▼三部対抗 自衛隊

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 石川利明（栃木県協会）、▼52kg 級 小林利典（群馬県協会）、▼57kg 級 朝倉利夫（国士舘大教）、▼62kg 級 金子博（群馬県協会）、

▼68kg 級 杉野浩吉（自衛隊）、▼74kg 級 田谷久男（自衛隊）、▼82kg 級 長島偉之（栃木・足利工高教）、▼90kg 級 浅野修（千葉県協会）、▼100kg 級 山本博（栃木県協会）、▼100kg 以上級 森康哲（自衛隊）

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 佐々木文和（島根・松江四中教）、▼52kg 級 菊田順宏（青森たかこう道場）、▼57kg 級 朝倉利夫（国士大教）、▼62kg 級 江藤正基（自衛隊）、▼68kg 級 山口勝之（和歌山県教ク）、▼74kg 級 向井孝博（自衛隊）、▼82kg 級 森山泰年（自衛隊）、▼90kg 級 今村民夫（自衛隊）、▼100kg 級 保坂竹道（北日本通商）、▼100kg 以上級 松永清志（和歌山ク）

◇東日本学生リーグ戦（5月12～14・20日、東京・駒沢体育館）

《順位》[1] 日体大（5年連続6度目）、[2] 国士大

（A組）[1] 日体大、[2] 専大、[3] 法大、[4] 中大、[5] 明大、[6] 東農大

（B組）[1] 国士大、[2] 日大、[3] 東洋大、[4] 大東大、[5] 東海大、[6]

拓大

◇西日本学生選手権（5月20～22日、大阪・大阪府立体育会館別館）

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 是永順次（福岡大）、▼52kg 級 国広幸信（徳山大）、▼57kg 級 西尾章彦（同志社大）、▼62kg 級 佐野聰憲（徳山大）、▼68kg 級 山本修（徳山大）、▼74kg 級 恒川寿生（同志社大）、▼82kg 級 今村岳生（同志社大）、▼90kg 級 石森宏一（大体大）

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 是永順次（福岡大）、▼52kg 級 鍛冶将喜（近大）、▼57kg 級 仮屋広和（徳山大）、▼62kg 級 西井篤（同志社大）、▼68kg 級 山本修（徳山大）、▼74kg 級 足立涉（徳山大）、▼82kg 級 山口育孝（大体大）、▼90kg 級 石森宏一（大体大）

◇東日本学生春季新人戦（6月17～19日、東京・駒沢体育館）

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 菅沢孝一（専大）、▼52kg 級 小林孝至（日大）、▼57kg 級 角地山豊（日大）、▼62kg 級 赤石光生（日大）、▼68kg 級 西真太郎（日大）、▼74kg 級 平山宣伸（日体大）、▼82kg 級 赤石明雄（国士館大）、▼90kg 級 松井浩幸（東農大）、▼90kg 以上級 猿田充（国士館大）

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 大黒智明（大東大）、▼52kg 級 久保政夫（日大）、▼57kg 級 我妻雄比古（日体大）、▼62kg 級 菅原弘（国士館大）、▼68kg 級 田中浩二（日体大）、▼74kg 級 倉内康好（日大）、▼82kg 級 赤石明雄（国士館大）、

▼90kg 級 呑香竜二（日大）、▼90kg 以上級 猿田充（国士舘大）

◇西日本学生春季リーグ戦（6月24～26日、大阪・大阪府立体育会館）

《順位》[1] 近大（11季ぶり7度目）、[2] 同志社大、[3] 徳山大、[4] 大体大、
[5] 桃山学院大、[6] 福岡大

◇全日本選手権（7月1～2日、東京・東京・駒沢体育館）

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 入江隆（自衛隊）、▼52kg 級 朝倉利夫（国士大教）、▼57kg 級 富山英明（日大教）、▼62kg 級 栄和人（奈良県協会）、▼68kg 級 杉野浩吉（自衛隊）、▼74kg 級 菊地隆（和歌山県教委）、▼82kg 級 長島偉之（栃木・足利工高教）、▼90kg 級 太田章（早大教）、▼100kg 級 本田多聞（日大）、▼100kg 級以上 石森宏一（大体大）

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 佐々木文和（島根・松江四中教）、▼52kg 級 宮原厚次（自衛隊）、▼57kg 級 江藤正基（自衛隊）、▼62kg 級 大久保康裕（自衛隊）、▼68kg 級 山口勝之（和歌山県教育庁）、▼74kg 級 向井孝博（自衛隊）、▼82kg 級 森山泰年（自衛隊）、▼90kg 級 今村民夫（自衛隊）、▼100kg 級 藤田芳弘（和歌山・和歌山北高教）、▼100kg 級以上 松永清志（和歌山教委）

◇インターハイ（8月2～5日、岐阜・岐阜県民体育館）

《学校対抗戦》[1] 青森・光星学院（2年連続4度目）、[2] 茨城・霞ヶ浦、[3] 和歌山・和歌山北、鹿児島・鹿児島商工

《個人戦優勝者》▼48kg 級 山下浩（茨城・霞ヶ浦）、▼52kg 級 土直博（鹿児島・鹿児島商工）、▼56kg 級 清森直博（青森・光星学院）、▼60kg 級 戸崎素成（岐阜・岐阜工）、▼65kg 級 吉井昌弘（岐阜・岐阜工）、▼70kg 級 尾形勝志（青森・光星学院）、▼75kg 級 奈良岡豊（北海道・岩見沢農）、▼75kg 以上級 奈良英則（青森・光星学院）

◇全日本学生選手権（8月25～28日、東京・駒沢体育館）

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 小林孝至（日大）、▼52kg 級 佐藤満（日体大）、▼57kg 級 井上智明（国士舘大）、▼62kg 級 赤石光生（日大）、▼68kg 級 森巧（国士舘大）、▼74kg 級 安田紀久雄（日体大）、▼82kg 級 赤石明雄（国士舘大）、▼90kg 級 水橋徹（国士舘大）、▼100kg 級 本田多聞（日大）、▼100kg 級以上 石森宏一（大体大）

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 小林孝至（日大）、▼52kg 級 大川秀和（日体

大)、▼57kg級 三宅正徳(日体大)、▼62kg級 野辺洋和(日体大)、▼68kg級 森巧(国士舘大)、▼74kg級 福岡浩一(国士舘大)、▼82kg級 和田正(専大)、▼90kg級 馳浩(専大)、▼100kg級 本田多聞(日大)、▼100kg級以上 石森宏一(大体大)

◇西日本学生新人戦(9月10~11日、大阪・桃山学院大)

《フリースタイル優勝者》▼48kg級 保田昌伸(同志社大)、▼52kg級 藤下有路(神戸大)、▼57kg級 西川史人(同志社大)、▼62kg級 橋本勝人(桃山学院大)、▼68kg級 和気清治(桃山学院大)、▼74kg級 糸川長武(同志社大)、▼82kg級 恒川寿正(同志社大)、▼90kg級 奥村広人(同志社大)

《グレコローマン優勝者》▼48kg級 釧持俊昭(近大)、▼52kg級 藤下有路(神戸大)、▼57kg級 西川史人(同志社大)、▼62kg級 田中新悟(近大)、▼68kg級 増田周司(大体大)、▼74kg級 糸川長武(同志社大)、▼82kg級 恒川寿正(同志社大)、▼90kg級 奥村広人(同志社大)

◇全日本学生王座決定戦(10月7~8日、東京・駒沢体育館) = 決勝成績

日体大○ [5-4] ●日大

※日体大は6年連続7度目の優勝

◇国体(10月16~18日、群馬・城沼総合体育館)

《成年フリースタイル優勝者》▼48kg級 石川利明(栃木・足利工大付高教)、▼52kg級 佐藤満(秋田・日体大)、▼57kg級 上野宏一(群馬・館林高教)、▼62kg級 栄和人(奈良・県体協)、▼68kg級 杉野浩吉(埼玉・自衛隊)、▼74kg級 樋口直巳(奈良・県体協)、▼82kg級 茂木優(秋田・秋田商高教)、▼90kg級 鈴木光(茨城・ユナイテッドスチール)、▼100kg級 本田多聞(茨城・日大)、▼100kg級以上 石森宏一(大阪・大体大)

《成年グレコローマン優勝者》▼48kg級 斉藤育造(和歌山・県立武道館)、▼52kg級 宮原厚次(埼玉・自衛隊)、▼57kg級 小山内喜秀(埼玉・自衛隊)、▼62kg級 大久保康裕(埼玉・自衛隊)、▼68kg級 山口勝之(和歌山・県体育館)、▼74kg級 谷一郎(群馬・大田商高教)、▼82kg級 森山泰年(埼玉・自衛隊)、▼90kg級 今村民夫(群馬・自衛隊)、▼100kg級 藤田芳弘(和歌山・和歌山北高教)、▼100kg級以上 松永清志(和歌山・県武道館)

《少年フリースタイル優勝者》▼48kg級 山下浩(茨城・霞ヶ浦)、▼52kg級 土直博(鹿児島・鹿児島商工)、▼56kg級 牛込誠一(茨城・霞ヶ浦)、▼60kg級 小芦英

夫（群馬・太田商）、▼65kg 級 古矢浩祥（千葉・八千代松陰）、▼70kg 級 尾形勝志（青森・光星学院）、▼75kg 級 石井英明（群馬・太田商）、▼81kg 級 斎藤龍雄（千葉・佐倉）、▼87kg 級 田中裕司（新潟・巻農）、▼87kg 以上級 奈良英則（青森・光星学院）

《少年グレコローマン優勝者》▼48kg 級 宮原稔（富山・高岡一）、▼52kg 級 志賀正尚（岡山・美作）、▼56kg 級 小森正巳（岐阜・岐阜西工）、▼60kg 級 西口茂樹（和歌山・和歌山北）、▼65kg 級 有延伸一（福岡・築上西）、▼70kg 級 松本誠也（群馬・館林）、▼75kg 級 奈良岡豊（青森・光星学院）、▼81kg 級 池田信次（埼玉・埼玉栄）、▼87kg 級 中山淳（茨城・霞ヶ浦）、▼87kg 以上級 石橋浩一（東京・東京実）

◇東日本学生グレコローマン選手権

◇全日本大学選手権（11月3～4、奈良・河合町立体育館）

《優勝者》▼48kg 級 小林孝至（日大）、▼52kg 級 大川秀和（日体大）、▼57kg 級 井上智明（国士舘大）、▼62kg 級 赤石光生（日大）、▼68kg 級 高橋（日体大）、▼74kg 級 平山宣伸（日体大）、▼82kg 級 安田紀久雄（日体大）、▼90kg 級 深沢隆一（中大）、▼100kg 級 本田多聞（日大）、▼100kg 級以上 石森宏一（大体大）

《大学対抗得点》[1] 国士舘大（7年ぶり2度目）、[2] 日体大、[3] 日大

◇西日本学生秋季リーグ戦（11月25～27日、大阪・大阪府立体育会館）

《順位》[1] 同志社大（23季ぶり5度目）、[2] 徳山大、[3] 関大、[4] 近大、[5] 大体大、[6] 桃山学院大

◇東日本学生秋季新人戦（12月1～3日、東京・駒沢体育館）

《フリースタイル優勝者》▼48kg 級 大橋正教（山梨学院大）、▼52kg 級 中尾康訓（中大）、▼57kg 級 森下敏清（日体大）、▼62kg 級 角地山豊（日大）、▼68kg 級 武藤徹（東洋大）、▼74kg 級 坂野下喜三（日大）、▼82kg 級 平山宣伸（日体大）、▼90kg 級 赤石明雄（国士舘大）、▼90kg 以上級 浅井功（日体大）

《グレコローマン優勝者》▼48kg 級 大橋正教（山梨学院大）、▼52kg 級 小林孝至（日大）、▼57kg 級 飯森勇次（東洋大）、▼62kg 級 原喜彦（日体大）、▼68kg 級 三宅靖志（東海大）、▼74kg 級 大舩守（明大）、▼82kg 級 平山宣伸（日体大）、▼90kg 級 赤石明雄（国士舘大）、▼90kg 以上級 本間和吉（専大）